



北海道議会議員

ただ ひろ
佐藤 禎 洋

令和4年4月号

発行 / 佐藤禎洋 政務調査室

道産ワインの振興に取り組む！！

① ワインアカデミー修了式

第7回北海道ワインアカデミー修了式に出席させて頂きました。

28人の受講生のみなさん、修了おめでとうございます。

ワインアンドワインカルチャー代表取締役田辺由美名誉校長の講評によると、これからの課題を①ブドウの栽培面積を広げる②北海道のテロワールに適したブドウを栽培する③人材育成としてあげられていました。

また、昔の話になりますが、第1回の開講式は落選直後だった事を北海道ワインの嶋村社長と懐かしく振り返っていました。

引き続き応援させて頂きます。



② 「HOKKAIDO WINE VALLEY」キックオフミーティング

「HOKKAIDO WINE VALLEY」キックオフミーティング



道と北海道大学は、道内ワイン産業の振興に向けた新組織を設立し、そのお披露目の席に来賓として同席しました。

道は経済界を巻き込み、ワイン生産参入者向けのプラットフォームを設け、北海道大学もワイン基礎研究拠点を設けた。

産官学金が連携し、オール北海道で生産者を支援していく。また、北海道のワイン産業が新たなステージに入って、食と観光の掛け合わせで波及効果も期待される。

日本仏教保育北海道大会 今夏札幌で開催

第36回日本仏教保育北海道大会が、30年ぶりに北海道で7月29・30日に開催されます。

北海道仏教保育協会 野村定弘 会長、横湯千重子 事務局長とともに、鈴木直道 知事に祝辞等の依頼をすべく訪問。

今大会のテーマは「連なる生命」～共に生きることの喜び～です。



令和4年第1回定例会予算特別委員会 道政課題について質す

①道立青少年体験活動支援施設の指定管理等について

今回の指定管理に関する不正行為は、教育行政を担う道教委に対する道民の信頼を損なう極めて遺憾な事態である。

早急に第三者委員会の調査結果を受け、知事部局とも連携し再発防止策を策定し、信頼回復に取り組むべきと考えるが、どのように取り組むのか、また、子どもたちの体験活動を推進するネイパルがその役割を十分果たせるようどのように充実を図っていくのか。

【教育長】

事実解明を解明するとともに、知事部局と連携して、再発防止を進めていく。

また、特に本道の未来を担う児童生徒のために各種事業を充実することが必要で、職員一丸となって施設の適正な運営に向けて全力を尽くし、魅力ある施設づくりを推進していく。



②いじめ問題について

旭川市の第三者委員会が行っているいじめ重大事態の調査については、3月中には、いじめの事実関係が先に遺族に説明される見通しとの報道があった。私としても、事実をしっかりと調査していただき、このような事案が二度と起こらないよう、学校、市教委が真剣に取り組んでいくことが大切と考えている。

本道全ての学校において、いじめを許さない学校づくりに取り組まなければ、子どもたちは安心して学校生活を送ることができない。道教委は、いじめ根絶に向け、今後どのように取り組んでいくのか。

【教育長】

管理職をはじめとする教職員研修の充実に努めるほか、児童生徒が気兼ねなく相談できる仕組みを整備するとともに、市町村や学校のいじめ防止の取組や対応の状況をきめ細かに把握をし、学校・教育委員会の体制や連携状況等に課題を抱えている場合は、課題解決の道筋がつくまで、継続した指導助言ときめ細かな支援を行うなど、道教委として指導力を発揮して、いじめ根絶に取り組む。